

第 32 回 金沢自転車ネットワーク協議会 議 事 概 要

日 時：令和 8 年 3 月 10 日（火）10:00～11:30

場 所：金沢河川国道事務所 2 階会議室

1. 開会
2. 会長挨拶
3. 議事
 - (1) 今年度の取組状況
 - (2) 金沢自転車事故対策研究会での取組
 - (3) 協議会の今後の活動について
 - (4) 情報共有事項
 - (5) 今後の予定
4. 閉会

議 事 要 旨

■今年度の取組状況

- ◎金沢市において実施した金沢市立工業高校と三井住友海上火災保険株式会社との連携事業は、高校生を対象とした取組事例が少ないことに加え、官民連携による事業であり、良い取組である。高校生のヘルメット着用を促す取組は、今後も重要である。
- ◎自転車ヘルメット着用率全国 1 位の愛媛県では、自転車事故をきっかけにヘルメット着用の重要性が周知され、ヘルメット着用促進に取り組んだ背景がある。取組にあたっては、このような経緯を把握することも重要。
- ◎中学生向け自転車ルール・マナー検定において目標点数を設定することが、意識向上を促す上で有効と考えられる。

■金沢自転車事故対策研究会での取組

- ◎デンマーク式自転車教室は、幼児期から自転車に親しみながら交通安全教育の機会を提供する良い取組であるが、今後さらなる普及のためには、キックバイク等の教材の確保と、運営に必要なスタッフの確保が課題である。教材の確保については、企業協賛や寄付を含む官民連携の活用により、柔軟な対応が検討できないか。スタッフの確保については、保育園等が自主的に実施できるよう、指導者となる教職員を対象とした講習会を開催することで、普及につながると考えられる。
- ◎事故原因を分析し、地点ごとの現地調査に基づき対策を実施する取組は、対策後、同種事故が減少している傾向が見られ、地道な取組であるが、効果が確認できる。

■協議会の今後の活動について

◎「自転車通行空間の質向上に向けた研究会」は良い取組だが、どのような KPI（評価指標）を設定するかが重要である。自転車の車道左側通行の割合等、様々な視点で KPI を検討する必要がある。

【第 32 回金沢自転車ネットワーク協議会の様子】



委員名簿

分類	所属・氏名	出欠
学識者	公立小松大学 教授 高山 純一	出席
	北陸大学 名誉教授 三国 千秋	出席
	地球の友・金沢 三国 成子 (内閣府 第9・10・11次中央交通安全対策会議専門委員)	出席
警察	石川県警察本部 交通企画課長 遠藤 英之	代理出席 課長補佐 大谷 誠
	石川県警察本部 交通規制課長 舟津 敬雄	代理出席 規制第一係長 前田 達也
	金沢中警察署 交通官 山東 久将	出席
	金沢東警察署 地域交通官 常光 祐司	出席
	金沢西警察署 地域交通官 寺井 敏貴	出席
行政 関係	国土交通省 金沢河川国道事務所 道路管理第二課長 辻野 清史	出席
	石川県 土木部 道路整備課長 松尾 和弘	代理出席 課長補佐 斎藤 豊
	石川県 土木部 都市計画課長 田中 進一郎	代理出席 課長補佐 山下 順也
	石川県 県央土木総合事務所 維持管理課長 村本 貴之	出席
	金沢市 都市政策局 交通政策課長 高田 耕太郎	出席
	金沢市 土木局 道路管理課長 伊藤 鋭和	代理出席 課長補佐 猪股 利彦

オブザ ーバー	野々市市 建設部 土木課長 塩田 健	代理出席 課長補佐 熊谷 貴秀
	白山市 建設部 土木課長 蔵本 敏正	代理出席 計画係主事 村井 壮志
	津幡町 産業建設部 都市建設課長 松岡 隆司	出席
	内灘町 都市整備部 都市建設課長 四月朔日 松英	欠席

※ 敬称略